

真の自立支援とは

～ご利用者が生きがいを持って生活
できる支援を目指して～

居宅介護支援センター 長上苑
富永 京子

施設概要

介護保険

短期入所 55床

地域密着型通所介護

訪問介護

訪問入浴介護

居宅介護支援

介護保険外

配食サービス

七恵サポート
(自費訪問介護)

介護保険費用

平成12年 3.6兆円

平成20年 6.9兆円

平成28年 10.4兆円

参照:厚生労働省資料

国の考える自立



II



要介護度の改善

今回の発表は・・・

「長上苑居宅介護支援事業所」

「自立とは、ご利用者が生きがいを持って生活できること」

A様 大正15年生まれの92歳 女性



経過

平成26年10月:地域包括支援センターより相談



平成26年11月:「要介護1」の認定結果がでる

引きこもりのリスク…認知症、筋力低下

デイサービスの拒否

☐ 本人の意向



デイサービスのような所に行くのと体調が悪くなったような気になる。それよりも、送迎してくれる所があれば語り部のボランティアをしたい。



☐ 息子の意向

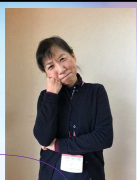


できる限りのことはしてあげたいと思うが、自分も腰に痛みがあり、立っているのも辛い。語り部は母の生き甲斐で、とても楽しそうにしているのでどこでも連れていってやりたいとは思いますが…。

アセスメントをしても、デイに行く必要性が見いだせず、本人・家族も希望していない



ケアマネジャーとしてどう援助しよう？



介護保険のサービス利用で有意義な生活ができるのかしら？送迎してくれるボランティアは聞いたことがない…

先輩ケアマネ



語り部のボランティアをしていたし、本人も希望しているので、そこを糸口にできないかしら？

そうですね。本人が意欲を持って外にできれば違うかな。でもどこへ聞けばいいのかな？



施設長



長上苑のショートステイにボランティアとして来てもらってはどうか？

語り部とは…

伝承話の昔話、民話、神話、歴史、方言、格言、家訓を現代に語り継いでいく人

平成6年頃(70歳)から、趣味として始める。平成24年10月に浜松へ来るまでは、福島でラジオ番組で語り部をしたり、ボランティアで、学校や施設等、色々な所に出かけ語り部を行っていました。



本人に長上苑での語り部の話をする

嬉しい！話をしたくてウズウズしている。



平成26年11月18日
長上苑で送迎をしてもらい、ショートステイで短編作を4つ、約30分披露してもらいました。

終了後の本人の言葉

久しぶりに話しができて、本当にうれしかった。これからは呼んでくれたらうれしい。

一か月後の本人の言葉



デイサービスに行かなくなってストレスがなくなり元気になった。話しをたくさんしてウズウズしている！



その後の語り部の活動場所

H26.11月 12月 長上苑ショートステイ

H27.2月 **D市のデイサービス**

H27.3月 長上苑ショートステイ

H27.4月 **E市の施設・東北民話の会**

H27.9月 **B市民話の会**

H27.11月 長上苑ショートステイ

長上苑ショートでの披露をきっかけに、自信を持ってもらえることができたようです。その後、様々な所で披露されるようになりました！！



「昔話を語る会」



「静岡新聞びぶれ」より



デイサービス

祝卒業

念願だった清水の舞台に立った！



今回、気づいた大切なこと



アセスメント
の姿勢



事業所とし
ての対応

居宅介護支援センター長上苑が目指すもの

- ☑単に要介護度の改善のみが「**自立支援**」とは考えない
- ☑利用者の「**心**の声」に耳を傾ける
- ☑「**真**のニーズ」を引き出す
- ☑本来の「**自立支援**」を目指していく

ご清聴、有難うございました。

